

ひとり親世帯 受講料半額に

パソコンのプログラミング教育が2020年度以降に小学校の授業で取り入れられる見通しとなり、全国で子ども向け教室の開講が相次いでいる。こうした中、経済的に苦しい家庭が多いひとり親の小学生の受講料を半額に減免する教室が、福岡市西区に今秋オープンした。主宰するNPO法人は「経済的な環境に左右されず、教育機会を提供したい」としている。

「できたー！」

パソコンでプログラミングした車両型ロボットが、与えられた枠内で停車すると、小学5年の男児(11)は満面の笑みを浮かべた。



自分でプログラミングした車両型ロボットを走らせる小学生

● 経済的困窮家庭の子ども達への学習支援事業を展開するNPO法人「エデュケーションエーキューブ」が始めたプログラミング教室。講師が「左車輪の出力を上げれば、もっとまっすぐ進むね」とアドバイスすると、男児は再びパソコンのキーボードをたたき、プログラムの修正を始めた。プログラミング教室は、

母子家庭に育った同法人の草場勇一代表理事が「たま

福岡市のNPO 「教育格差なくし、可能性広げる」

「たま自分は大学に進学できる環境だったが、そうではない子どもも多い」との思いから発案。県内外で学習塾を展開する全教研(福岡市)が賛同し、社会貢献活動の一環として、自社開発の教材を提供した。

プログラミング教育は、IT分野の人材育成だけでなく、論理的思考力を養うこともできるとして、20年度以降に小学校で必修化される予定。草場代表は「プログラミング教育は、学校での重要な学習の一つになる。私たちの教室での基礎的な学習を通して興味を持ってもらい、親の所得格差が子どもへの教育格差を生む貧困の連鎖を断ち、子どもたちの可能性が広がる機会にしたい」と話している。

教室は木曜と日曜のコースがあり、それぞれ1時間半の授業が月2回。受講料は月4千円(ひとり親家庭は月2千円)。問い合わせはエデュケーションエーキューブ11070(5495)2695。(岩佐遼介)